

Rotary 鈴鹿西ロータリークラブ会報

所属： 国際ロータリー第 2630 地区 鈴鹿・亀山グループ；
創立： 1985 年 3 月 27 日； RI 認証： 1985 年 6 月 3 日(No. 1665)；
事務所： 〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 816 鈴鹿商工会議所 3F；
電話： 059-383-7077； FAX： 059-383-0501；
E-Mail： info@rotary-suzuka-west.org； https://www.rotary-suzuka-west.org/
例会場： 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール； 例会日： 火曜日； 例会食事： 12: 00； 例会： 12: 30-13: 30；



2024 年 7 月 9 日(火)第 1759 回例会

例会場： 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール
開始： 12: 30 終了： 13: 30
例会進行： 森 喜代造 S A A
点鐘： 会長 川戸広樹
ソング： 我らの生業
ソングリーダー： 服部高宣 会員
ゲスト： 鈴鹿・亀山グループガバナー補佐
 榎田浩哉様（鈴鹿シティRC）
ビジター： IM 実行委員長 杉野大雄様

の杉野 大雄（すぎのだいゆう）様にお越しいただいています。この後ご説明をよろしくお願ひします。

本日はガバナー補佐の卓話ということで、その前座となるような挨拶ができればと思っています。先日、市長訪問の折、ガバナー補佐の役割として、ガバナーの方針を伝えることとおっしゃっていました。そして、今年度の亀井喜久雄ガバナーは、これまでのガバナーとは違い、

（日本の職業奉仕を中心としたロータリーの考え方）RI の方針に則った（のっとり）ご発言をされているとおっしゃっていたように思います。そこで、RI の方針として何があるのかと考えたときに思い浮かべたことは、先日の地区協議会で初めて聞いた人物について、ちょっとお話をしたいと思います。私が初めて聞いた名前というのは、ジョン・ヒューコ国際ロータリー事務総長兼最高経営責任者（CEO）です。RI 会長は毎年変わりますが、CEO は今 2026 年 6 月 30 日までの任期で再任されているそうです。

キエフで初のロータリークラブの創立会員で、キエフやプラハ、モスクワなどで活躍をされていた国際的な弁護士で、2004～2009 年にかけて、世界最貧国への対外援助を行うために設立された米国政府機関 MCC の副社長として活躍されたようです。今は事務総長として、米国イリ

会長挨拶

川戸広樹 会長



皆さんこんにちは。本日は 2024-2025 年度鈴鹿・亀山グループの第一回目のガバナー補佐のご訪問ということで、榎田 浩哉（くしだ ひろや）様にお越しいただいています。後ほどガバナー補佐の卓話をよろしくお願ひします。それから、鈴鹿・亀山グループのインターシティーミーティングのご説明のため、IM 実行委員長

ノイ州エバンストンにある国際ロータリー世界本部と世界 7 カ国の国際事務局で働く総勢約 800 人の職員を指揮しているということです。スピーチが MyRotary で見ることができます。ジョン・ヒューコで検索すると、2024 年国際協議会の動画が出てきます。

もちろんそこにはステファニー・アーチック RI 会長の講演もあります。

ジョン・ヒューコ事務総長の 14 分あまりの動画は、地区協議会の冊子の中の「ロータリーの最も貴重なリソース」に文字で書かれていますので、皆様一度読んでいただければと思います。その一部を読みます。

2024.01.08 のスピーチです。皆さま、こんにちは。歴史上の素晴らしいクリエイティブな解決策は、個人的なつながりを通して、また人びとが共通の情熱や興味を見出したときに生み出されてきました。

もちろん私たちは、ポール・ハリスが友人のグループを集めてロータリーを設立したことをよく知っています。

同様に、1970 年代半ば、テクノロジーへの情熱を分かち合っていることを知ったスティーブ・ジョブズとスティーブ・ウォズニアックは、アップルのコンピュータの最初のプロトタイプを作るためにガレージに店を構えました。

イノベーション（改革）とは技術に限ったことではありません。

中略

私から皆さまに呼びかけたい行動は、次のことです：地区ガバナーとして、新クラブを設立するために何ができるかを考える必要があります。そのために少しだけルールを破ることさえ必要

かもしれません。

先ほど、過去 5 年間に 20 パーセントの地区が新クラブを設立していないこと、昨年度に 48 パーセントの地区が新クラブを設立していないことをお伝えしました。皆さまの年度にこれをかえなければなりません。新クラブは、参加者の基盤を広げる最良の機会となるからです。

地元企業に連絡し、社内にクラブを結成する機会があるかどうか確認することを検討してみましょう。最近退職した人が参加できる新しい方法を考えましょう。これからの人びとは、新たな会員基盤を成長させる大きな源となる可能性があります。趣味やそのほかの親睦活動を中心にクラブを結成することもできます。

人と人をつなぐ新しい方法に心を開き、新しいクラブのアイデアについて地区のほかの方々と定期的に話し合ってください。また、成長への道のりは、新クラブの結成だけではないことも覚えておきましょう。苦労しているクラブには、会員の参加を促し、会員にとって新に意義のある価値を与える体験を提供する方法を見つけるよう奨励する必要があります。

しかし、最も重要なのは、ロバート・ジンサー氏とエマニュエル・ルフアデジュ氏が 1994 年にそうしたように、この国際協議会を利用してつながり、アイデアを共有することです。

最後に、スティーブ・ジョブズの言葉を紹介します。彼はアップル社の創業を助けただけでなく、一度退職し、同社が業績不振だったときに復帰しました。当時、ハイテク業界の多くの人々は、同社の最盛期は終わったと考えていました。ジョブズは、アップル社を救う唯一の方法は革新であることをしていました。彼はこう言い

ました：「アップル社再建の妙薬は、費用を削減することではない。現在の苦境から抜け出す斬新な方法を編み出すことだ。優れた製品を提供し続ければ、顧客はいつでも財布を開いてくれると、私たちは信じていた」
革新の必要性は当時のアップル社に当てはまり、同様に現在のロータリーにも当てはまります。…ということで、本日の前座としての挨拶を終わります。

幹事報告

田中 通 幹事



1. 近隣ロータリークラブ例会変更のお知らせ
四日市RC：7月25日(木) 18時30分～友愛例会のため都ホテル四日市
8月15日(木) 休会(祝日規定)
四日市西RC：7月26日(金) 社会奉仕活動(一日里親活動)のため四日市防災教育センター・グリーンランドあさけ
鈴鹿シティRC：8月14日(水) 特別休会
鈴鹿ベイRC：7月25日(木) 休会
2. 四日市南ロータリークラブ 事務局電話番号変更のお知らせ
現在：090-1724-0315
(7月末まで)
新番号：090-5366-8164

3. ガバナーノミニー決定宣言
2024年7月7日(日)指名委員会におきまして、2026-27年度ガバナーノミニーに河合伸泰(かわい のぶやす)様(大垣中ロータリークラブ所属)が指名されましたのでお知らせいたします。
4. 月信7月号訂正について
P11 ガバナー補佐就任挨拶並びに抱負
伊勢・鳥羽・志摩グループガバナー補佐
塩本智幸様 所属クラブ
(誤) 四日市RC → (正) 志摩RC
5. 2023-24年度年間出席率表を配布してございます。ご確認をお願い致します。
6. 7月23日(火)例会終了後、第4回理事・役員会を事務局において開催いたします。
7. IM実行委員長 杉野大雄様より鈴鹿・亀山グループインターシティミーティングについてご説明いただくにあたり、案内資料をお手元に配布させていただいております。
8. 受贈誌：2024-25年度計画書：四日市北RC、津北RC、亀山RC、鈴鹿ベイRC

委員会報告

*鈴鹿・亀山グループインターシティミーティングの説明



鈴鹿・亀山グループ I M 実行委員長

杉野大雄様

*ゴルフ取り切り戦(5月29日開催)優勝者



表彰記念品授与 岩崎 透 会員

出席報告 小林英将 出席委員長

正会員 26 名中 11 名出席 出席率 55.00 %

ニコニコボックス報告

伊藤雅文 親睦・家族委員長

敬称略・順不同

※多額

※**榎田浩哉(鈴鹿シティRC)**: 本日 AG 訪問例会及びクラブアッセンブリー宜しくお願いします。

※**杉野大雄(鈴鹿シティRC)**: 本年度 I M 実行委員長をさせていただきます。よろしくお願いします。

川戸広樹: ガバナー補佐 榎田浩哉様、I M 実行委員長 杉野大雄様、本日はよろしくお願いします。

田中 通: 榎田 AG、杉野 I M 実行委員長ようこそ鈴鹿西 RC へ。AG のロータリー感を聞くのが楽しみです。

岩崎 透: 榎田 AG 様、杉野 I M 実行委員長

大歓迎です。

沖 俊成: 榎田 AG、杉野 I M 実行委員長ようこそお越し下さいました。

服部高宣: 榎田 AG ようこそ。杉野 I M 実行委員長ご苦労様です。

伊藤義一: 仕事で早退致します。

本日のプログラム

第一回 AG 訪問例会 「ガバナー補佐の卓話」



鈴鹿・亀山グループガバナー補佐

榎田浩哉様

鈴鹿西ロータリークラブのメンバーの皆様、こんにちは。

今年度、亀井喜久雄ガバナーより、鈴鹿・亀山グループ(鈴鹿、鈴鹿西、鈴鹿ベイ、鈴鹿シティ、亀山) 5 クラブの担当ガバナー補佐を拜命致しました榎田浩哉と申します。

ロータリー歴として、在籍 24 年、クラブの幹事、会長の経験はあるものの、地区への出向経験も無い私にとってガバナー補佐という大役は分を越えているのではないかと色々戸惑いもありましたが、今改めて受託したその職務の重要性を再認識し身の引き締まる思いでございます。

クラブに対して助言やサポートが満足に出来るのか甚だ心配ですが、RIのテーマ「ロータリーのマジック」とガバナーの方針である「地域にインパクトを」を皆様にお伝えする事を第一の責務とし、地区と各クラブのパイプ役としてクラブをサポートさせていただくと共に、各クラブの皆様との触れあいを通じてロータリーの地域におけるアイデンティティを一つでも多く見つけ、皆様と共有し、ロータリー活動を通じて、共に地域から信頼され必要とされるクラブづくりを目指していきたくと思います。

私にとってのロータリークラブの存在とは何であったか？を思い起こしながら、お話させていただきたいと思います。

まず、入会のきっかけは、私が歯科医院を開業していた時に、歯科医師会の同じ委員会に所属していた、歯科医師の友人が、創設間もないシティロータリーのチャーターメンバーであり、その友人からの入会への誘いでした。歯科医師を辞め、家業である自動車学校の経営を専業としようと考えていた時期で、地元密着型の企業を経営していく上で、自分自身の地域での人脈づくりをしたいと考えていた私にとって、多くの地元の経営者の人達と知り合う機会になる良いお誘いかな？とクラブへの入会を考えました。しかし、入会にあたり迷いもありました。ロータリーは奉仕団体であり、私のイメージとしては、奉仕＝ボランティアであり、みかえりを求めることなく、自己犠牲を払っても他人の為につくすことと思っていた私にとっては、とつても奉仕という言葉は、ハードルが高く、正直言って私のような、下世話な人間が語ることは、偽善的に思えて仕方ないと、ためらいを覚えて

いました。そこで、40年間ロータリアンであった父に相談をしました。

父はこう答えました。

ロータリークラブは、We serve という形で集団として奉仕活動を行う団体と違い、I serve という形で、団体の中で学んだ奉仕の哲学、考え方を会員個々が、実践する集団である。

「ロータリーの一番の奉仕は職業奉仕」

そして、職業奉仕とは、仕事を一生懸命頑張ってお客様により品質の高いサービス、信頼性の高い物を提供することにより、お客さんに喜んでもらえればもらえるほど、利益にも繋がる、お金という報酬（利益）を否定するものではなく。その利益を如何に職業、会社を取り巻く全ての人の為に上手く還元させるかが大事で、上手く還元させれば、させる程その企業の発展へと導き、繁栄へと繋がっていくという哲学である。ということを教えてくださいました。

He profits most who serves best 「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というアーサー・フレデリック・シェルドンが提唱したそのモットーが私には、受け入れ易かったです。

ロータリークラブに入会して20年以上の間に、様々なユニークで人間味のあるメンバー達と出会い、人生感や経営理念について語らい、いろいろ学ばせてもらいました。

ロータリーに入会して、3年目に、商工会議所の青年部で会長として活躍していたクラブのメンバーからの誘いで、YEGの一員となり、会長まで務めさせて頂く機会も与えられ、地域の活性化、商工業の発展の為にイベントや事業、等の社会奉仕活動に参加するきっかけもつくって

もらいました。

例会、そして様々なロータリー活動を通じてクラブメンバーとの親睦を深めると共に、信頼関係を含め、多くのクラブメンバーとは、仕事の上でも、建築や設備の改善、社内システムの構築、広告宣伝等など信頼おける外部ビジネスパートナーとして今も、自分の会社に関わり支えてもらっています。

現在、会社の方は、息子に社長の席は譲りましたが、自動車教習所として、新にドライバーになる方々に少しでも質の高い交通安全教育を提供できるように、また、地域の交通安全センターとして、社会奉仕活動として幼稚園児を対象とした交通安全フェアの開催をはじめ、様々な交通安全啓発活動を社員共々積極的に取り組んできました。そのおかげで、社長であった20年以上業績を落とさず推移することが出来たと思っています。

また、ロータリアンとして、業界の維持、発展に貢献するというロータリーの哲学をもって、10年間弱、県の協会長、中部の副会長、全国の理事などの役職も引き受け、より進む少子高齢化という厳しい経営環境の中、私共教習所が持つ施設、設備、そして社員それぞれの持つ専門知識と技術を生かし、地域社会で必要とされる新たなサービスを如何に業界として、展開していくべきかを提言し、実践に向け準備してまいりました。

一言でいうとロータリーとは、私の会社経営者としての基礎を作ってくれ、仕事に対する考え方、そして理論を与えてくれた場所ではなかったかと思います。

また、最近ロータリークラブとは、自分を人として成長させてくれ、可能性を無限大に広げてくれる場所ではないのかな？という気がしたりもしています。ただそれは、与えられるものでなく、自分自身が積極的に求め、行動すれば・・・これが、私のロータリー感です。

ここからが、本題であります。

本年度 RI 会長ステファニーA, アーチック会長の掲げたテーマは、「ロータリーのマジック」です。

ここ数年、RI の優先事項は、職業奉仕から、世界平和の構築及び、人道支援へと変化してきております。

現在、世界では、多数の紛争、戦争が起こっており、数知れない犠牲者がでているのが現状です。

現実、戦争の無い平和な世の中をつくることは、奇跡であると思われています。

RI では、ロータリアン個々の持つ人を思いやる心「超我の奉仕」 Service Above Self の哲学の連鎖によって平和な世界は必ず構築できると信じ行動しています。みなさんのクラブが、その思いやりの心に基づいたプロジェクトを実践し。新入会員を迎え増強し、積極的に寄付を行うことでマジック(魔法)を生み出し、その世界は近づき。やがて奇跡は起こると考えています。

この RI の「ロータリーのマジック」というテーマを受け、亀井ガバナーは、今年度地区テーマを「地域にインパクトを」とされました。

ガバナーご自身、近年地域社会の中でロータリーのアイデンティティが失われつつあるのではないかと感じてみえます。

もう一度地域の中のロータリークラブの地域の

中のアイデンティティをみつめ直し、さらに、地域から信頼され必要とされるクラブづくりを目指していただきたい。

その為に、地域の中で持続可能で、より社会のニーズに即した大きなインパクトをもたらすアイデアを、是非本年度から捻出、実践して頂くことを熱望してみえます。

限られた時間や予算の中で、最大限その効果を上げ1つでも多くの成功事例を作り上げていただく為に、対象そして目的を明確化し集中して行っていただきたい、また是非、奉仕プロジェクト補助金(DCS)の活用も視野に入れ実行いただきたいと思ってみえます。

そして、地区のもう一つの重点項目としてあげられているのが、会員の増強です。

具体的には、1クラブ2人以上の純増ですが、目標はより多く設定頂きたい。

そしてお願いとしては、

一つ目は、入会候補者のリストを作っていたいただきたいのです。その際、今までにない職業分類の人びとにも注目してください。従来の堅い観念ではなく、多種多様の人を選考の対象にしてください。4つのテストを満たす人なら、原則どなたでも結構です。多様な人材はクラブにとっても活性化の一助になるものと考えます。

その仲間となるロータリアンを増やす為には、女性会員の増強は言うに及ばず、今までのクラブ会員とは異なるタイプの人であっても、DEIの考えで受け入れ共に考え、共通の目的の為に結束して献身的に活動すれば、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます。

それを実現する為に、衛星クラブのような新クラブの設立も検討頂きたいと思えます。

二つ目はロータリーの活動をより広く社会に広報してください。いくら良いことをしても、社会に知らせなければそれは自己満足の域を出ません。より多くの人に知ってもらい、ロータリーのイメージの向上に努めてください。

三つ目は、現在在籍のロータリアンの中でも、若手のロータリアンに重要な役割を担ってもらってください。彼らは入会年数が若故に、ロータリーへの帰属意識が薄くなりがちです。その彼ら彼女達に責任ある立場に立ってもらおうのです。そのことをきっかけに彼らはロータリーの意味を深く認識し、退会防止になります。

四つ目は例会の在り方を考え直してほしいのです。伝統的な儀式めいたやり方に一定の意味はあります。それは「重み」ですが、それだけでなく、会員一人1人が例会に参加している「場」づくりを考えてください。

最後に、時代とともにロータリーは変わるべきと考えます。どのような会社組織も、その時代の変化に対応し、変わらなければ生き残れないのは長い歴史を見ても、自明の理です。国際ロータリー事務総長ジョン ヒューコ氏も同様の危機感を持っておられます。今一度何を残し、なにを変えるか各クラブの皆さんに考えていただき、クラブの再生を試みてください。



例会終了後、クラブ協議会が開催されました。

会報発行担当：江藤隆仁